
長野県県民芸術祭2022参加
第62回（令和4年度）長野県吹奏楽コンクール

大学の部、職場・一般の部 長野県大会 開催要項

1. 名称 長野県県民芸術祭2022参加
第62回（令和4年度）長野県吹奏楽コンクール 「大学の部」「職場・一般の部」 長野県大会
2. 主催 長野県吹奏楽連盟，朝日新聞社
3. 共催 長野県，長野県教育委員会
4. 後援 岡谷市（申請中），岡谷市教育委員会（申請中）
5. 主管 長野県大学職場一般吹奏楽連盟
6. 日時 令和4年7月24日（日） ※審査開始時間は参加団体数確定後に決定します。
7. 会場 岡谷市文化会館（カノラホール）
〒394-0029 岡谷市幸町8番1号 TEL：0266-24-1300 FAX：0266-24-1412
（新型コロナウイルス感染症等の感染症防止対策を目的として、本大会を会場審査から映像付き録音記録媒体審査に切り替えて実施する場合があります。）
8. 審査員 石川 大樹（打楽器奏者）／坂本 あゆみ（フルート奏者）／高木 夏子（トロンボーン奏者）／
廣田 喜美（クラリネット奏者）／古越 恵美（ホルン奏者）
9. 参加資格
 - ① 参加する団体（学校）が長野県大学職場一般吹奏楽連盟の会員団体（学校）であること
 - ② 長野県内を活動の拠点とする長野県大学職場一般吹奏楽連盟の非会員の団体（学校）であって、参加申し込み締め切り日時までに長野県大学職場一般吹奏楽連盟の入会手続きが完了していること
10. 参加費用
 - 1) 参加費
 - ① 大学の部 出場者1名につき 1,500円 （出場者には指揮者は含まない）
 - ② 職場・一般の部 出場者1名につき 2,000円 （出場者には指揮者は含まない）
 - 2) 音楽著作物使用料
1団体（学校）につき 1,200円
後述の「14.留意事項 10) その他 ④」により審査方式がステージ演奏による会場審査から映像付き録音記録媒体による審査へ変更になった場合には、審査会において団体（学校）ごとに課される料金の基礎数値となる上映時間を確認のうえ団体ごとの音楽著作物使用料を改めて算出し、団体（学校）ごとに生じる差額を後日精算していただきます。
 - 3) その他
審査方式が映像付き録音記録媒体による審査へ変更された場合の審査用記録媒体の作成及び提出に係る費用は、すべて参加団体（学校）が負担することとします。
11. 申し込み期限
 - 1) 参加申し込み 令和4年6月14日（火） 21:00
 - 2) 参加費用納入 令和4年6月14日（火）

12. 手続方法

1) 参加申し込み

インターネットによる長野県吹奏楽連盟ホームページからの申し込みしか受け付けておりません。

- ① 長野県吹奏楽連盟ホームページ (<http://www.ajba.or.jp/nagano/>) を開く。
- ② 「長野県吹奏楽連盟各種申込フォーム」を選択する。
- ③ 出場大会より「吹奏楽コンクール 大学職場一般の部 長野県大会」を選択する。
- ④ パスワードを入力する。パスワードは ***** です。
- ⑤ 指定事項を入力する。
 - * 申し込みの際、指定されている項目はすべて入力してください。
 - * 演奏者、申込者、作曲者、編曲者、団体（学校）代表者氏名の姓と名の間には半角スペースを入れて下さい。
 - * 電話番号、FAX番号は半角数字とし、局番と番号の間には「-」を入れて下さい。
 - * 住所には県名記載は不要です。
 - * 団体名（学校名）、団体長（代表者）氏名、住所は連盟に届け出ている団体（学校）代表者の氏名、住所を記載し、住所への郵便番号、県名の記載は不要です。
 - * 指定事項が正常に記入された場合、申し込みアドレスに確認メールが自動返送されます。
 - * 申込者へ自動返送されるメールは同時に事務局へも送信されますので、事務局ではそのメールにより申込内容を確認いたします。
 - * 申し込みアドレスは、本大会に関する連盟からの連絡事項や問い合わせ事項をお送りする連絡先メールアドレスとなりますので、添付ファイルを受信することができ責任を持って管理することができるメールアドレスを指定して下さい。
 - * 申し込みアドレスに送られる確認メールでは申込用紙への捺印・提出を案内していますが、提出は不要です。
 - * 申し込み完了後に入力項目の誤記訂正や内容変更が生じた場合は、インターネットによる申し込みを再度行って下さい。同一団体（学校）からの入力については、最後に入力した申し込みの内容を有効として取り扱います。
- ⑥ 申し込み期限以降に入力項目の訂正が必要になった場合、または団体（学校）の代表者や申し込み責任者の氏名、連絡先等の演奏曲や演奏者に関係しない事項に変更が生じた場合は、必ず事務局（ホームページ管理受託者ではなく長野県大学職場一般吹奏楽連盟の事務局長）へ連絡（できる限りFAX、Eメールを利用して下さい）のうえ、その指示により手続きを行って下さい。
- ⑦ 申込書記載の参加人員が長野県大学職場一般吹奏楽連盟規約第8条に基づき報告している団体活動人員数を上回る場合は、申込手続き後すみやかに同規約第33条第4項に定める手続き（長野県大学職場一般吹奏楽連盟事務局への登録事項変更届の提出と増となる団体活動人員数分の会費（一人あたり2,000円）の納入）を行って下さい。
- ⑧ 事務局で申込内容を審査し、疑義がなければ申込書は受理となります。

申込書に疑義がある場合及び上記⑦に該当する場合は事務局から連絡先アドレスに疑義を問い合わせます。

申込書はその疑義の処理が済み次第受理となります。

2) 参加費用の納入

- ① 参加費用（参加費、音楽著作物使用料）は郵便振込で納入していただきます。

払込先口座番号：00590-5-48913

加入者名：長野県大学職場一般吹奏楽連盟

- ② 参加費用は**最寄りの郵便局に備え付けてある料金振込人負担の振込用紙（青色用紙）**を利用し、参加費用に振込料金を添えて手続きしてください。なお、**振込料金は各団体（学校）での確認と負担**をお願いします。
- ③ 振込手続をする前に、郵便振替払込用紙「払込取扱票」（左側）の**通信欄に以下の事項を必ず記載**してください。
- ・部 門 名：「大学」または「職場・一般」のどちらか
 - ・団体（学校）名：参加する団体（学校）名（連盟に登録している団体（学校）名）
 - ・代表者氏名：○○○○ ……参加団体（学校）の代表者氏名
 - ・納入金額：
（大 学） 1,200 円（音楽著作物使用料）+○○人×1,500 円=○○○○円
（職場・一般） 1,200 円（音楽著作物使用料）+○○人×2,000 円=○○○○円
- ④ 全日本吹奏楽コンクール予選部門と自由演奏部門のそれぞれについて、別の振込用紙を使用して別件の振込として納入してください。（両方の部門に参加する場合であっても、合算して1件の振込にしないで下さい。）

13. 課題曲

課題曲は全日本吹奏楽コンクールで指定されている次の5曲の中から1曲を選ぶ。

2022年度全日本吹奏楽コンクール課題曲

課題曲Ⅰ やまがたふあんたじい ～吹奏楽のための～

（第31回朝日作曲賞受賞作品）

杉浦 邦弘 （約5分）

課題曲Ⅱ マーチ「ブルー・スプリング」

鈴木 雅史 （約3分半）

課題曲Ⅲ ジェネシス （2022年度全日本吹奏楽連盟委嘱作品）

鈴木 英史 （約3分）

課題曲Ⅳ サーカスハットマーチ

奥本 伴在 （約3分）

課題曲Ⅴ 憂いの記憶 - 吹奏楽のための

（第13回全日本吹奏楽連盟作曲コンクール第1位作品） 前川 保 （約5分）

14. 留意事項

- 1) 「9.参加資格」に記載のとおり、このコンクールに参加するためには、参加する団体（学校）が長野県大学職場一般吹奏楽連盟の会員であることが必要です。
当該団体（学校）が長野県大学職場一般吹奏楽連盟の会員ではない場合は、予め長野県大学職場一般吹奏楽連盟事務局（事務局長 加藤慎一）へ入会希望を申し出、当該団体（学校）の入会手続きを行って下さい。
入会手続きの状況を見ながら、参加申込みに必要なパスワードを明記した開催要項をお送りいたします。
- 2) 団体（学校）代表者の氏名、住所等、**連盟に届け出ている団体（学校）の情報に変更がある場合は、事前に「登録事項変更届」を提出**してください。コンクールの申し込み手続は所定の変更手続を済ませた後に行ってください。
- 3) 以下の場合は申し込みを無効とします。
 - ① 長野県大学職場一般吹奏楽連盟の非会員の団体（学校）
ただし、当該団体（学校）が長野県大学職場一般吹奏楽連盟へ入会手続中である場合を除く
 - ② 申込期限（日時）を過ぎてから参加申し込みがあった団体（学校）
 - ③ 納入期限までに参加費用の納入がなかった団体（学校）
- 4) 原則として、納入された参加費用は理由の如何に関わらず返還いたしません。

5) 個人情報に関して以下のとおり取り扱います。

- ① 団体（学校）名、指揮者氏名をプログラムに掲載します。
- ② 長野県吹奏楽連盟と業務を契約している写真録音委託業者へ各団体（学校）の情報（団体（学校）名、代表者氏名、連絡先住所、連絡先担当者氏名）を提供します。
- ③ 傷害保険加入のため、参加者の個人に関する情報（氏名）を契約する保険代理店へ提供します。
- ④ コンクール会場の施設管理者からの求めに応じ、コンクール当日の来場者全員の名簿（氏名、住所、電話番号）を岡谷市文化会館（カノラホール）へ提供します。
- ⑤ 参加団体（学校）に関する情報及び参加者個人に関する情報は、上記①、②、③及び④のほかコンクール運営上必要な場合や本大会参加者から新型コロナウイルス感染症罹患患者又は濃厚接触者が確認された場合の行政機関からの要請に基づく情報提供以外には一切使用しません。

6) 規定

- ① 本大会は「長野県大学職場一般吹奏楽連盟吹奏楽コンクール実施・審査規定」（以下、「実施・審査規定」という。）に従います。
ただし、本大会の審査を映像付き録音記録媒体による審査に変更した場合には、『実施・規定 [4] 演奏』に定めるステージへの機材持ち込みについては、録音及び録画収録時における機材の持ち込みについて定めたものとして取り扱います。
- ② 本大会のコンクール当日の運営は「長野県大学職場一般吹奏楽連盟吹奏楽コンクール大会運営細則」に従います。
- ③ 長野県大学職場一般吹奏楽連盟吹奏楽コンクール実施・審査規定 [4] 演奏3. で規定する「参加申込書の記載事項を変更しての演奏は認めない」については、本大会が新型コロナウイルス感染症等の感染症防止対策を目的として会場審査から映像付き録音記録媒体審査に切り替えて実施することになった場合の感染症拡大防止措置のため、または事故発生によりやむを得ず指揮者を変更することについては適用しません。

7) 疑義の問い合わせ

本大会は「長野県大学職場一般吹奏楽連盟」の主管により長野県吹奏楽連盟が主催するコンクールです。大会参加に関する疑義は、必ず「長野県大学職場一般吹奏楽連盟」の事務局長へ問い合わせして下さい。

東海吹奏楽連盟、全日本吹奏楽連盟など上部大会の主催連盟へ問い合わせることが無いよう、団体（学校）内での周知徹底をお願いします。

問い合わせ先は次のとおりです。できる限りFAX、Eメールの利用をお願いします。

長野県大学職場一般吹奏楽連盟 事務局長 加藤慎一
TEL&FAX 0263-28-5793 E-mail kato@matsumoto.ne.jp

8) 著作権の取り扱い疑義の問い合わせ

- ① 音楽著作物利用許諾手続きは主催者が行います。
- ② 音楽著作物使用料は参加団体（学校）の負担とし、「10. 参加費用 2) 音楽著作物使用料」に記載のとおりです。
- ③ 編曲許諾、演奏許諾が必要な場合は当該団体（学校）で手続きを済ませてから参加申込を行ってください。
- ④ 著作権法保護のための自主規制として、コンクール当日（映像付き録音記録媒体による審査に変更した場合は審査会当日）の受付時に使用楽譜の原譜使用、複製許諾、編曲許諾及び演奏許諾の状況を確認します。口頭もしくは楽譜、書類の提示により対応をお願いします。
- ⑤ 音楽著作物利用の公正化及び責任所在の公明化を図るためプログラムへ作曲者名、編曲者名、出版社名を明記するので、参加申込書の所定欄に必ず記入してください。

- ⑥ 著作権法を遵守するとともに、著作権について不明な点がある場合は作曲者、編曲者、出版社等へ問い合わせ、適正な対応を図ってください。

9) 大会に参加できる者の条件

① 演奏者の所属関係について

「9. 参加資格」に記載のとおり、このコンクールへの参加には団体（学校）が長野県大学職場一般吹奏楽連盟の会員であることが必要です。これは同時に、演奏者が長野県大学職場一般吹奏楽連盟の会員（連盟に加盟する団体）の組織員（会員、団員等）であることを条件としているものです。この条件に合致しない演奏者が含まれている場合又は後日その事実が明らかになった場合には、『実施・審査規定〔6〕規定違反に対する処分』に従い、参加停止又は審査結果無効による失格と賞剥奪の処分を行います。

② 大会前の健康観察について

各団体（学校）の演奏者と補助員は大会前10日間の体温及び健康観察（管理事項の詳細は申込受付後に通知します。）を実施のうえ、各自で健康管理問診票（申込受付後の通知に添付します。）を記入し、団体（学校）ごとに当日受付に提出して下さい。

当該団体（学校）内の演奏者全員と補助員全員の健康管理問診票が提出されなかった場合は、コンクール当日の参加を認めません。

③ 入館時の検温及び問診について

各団体（学校）の演奏者と補助員は入館時に検温及び問診を受けて下さい。

当該団体（学校）の演奏者と補助員の中に、検温及び問診を拒否した者がいた場合、検温及び問診の結果37.5℃以上又は平熱+1℃以上の発熱、咳、下痢、味覚障害、嗅覚障害、呼吸困難、倦怠感等の症状がある者、新型コロナウイルス感染症罹患者もしくは罹患が疑われる者との濃厚接触（1m以内で15分以上接触）がある者、同居家族や身近な知人の感染が疑われる者、過去10日以内に国外への渡航履歴がある者、過去10日以内に緊急事態措置やまん延防止等重点措置の対象区域での居住又は対象区域への訪問履歴がある者のいずれかが確認された場合は、コンクール当日の参加を認めません。

- ④ 上記②の健康観察期間及び上記③の大会前の渡航履歴と居住又は訪問履歴の制限日数は、「長野県新型コロナウイルス感染症対応方針」の変更によって見直する場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。

10) その他

- ① 演奏順は理事会での抽選により決定します。

- ② 参加申し込み受付完了後、全参加団体（学校）宛にコンクール出席者名簿の提出を依頼しますので、通知に従って対応してください。

- ③ コンクール当日の日程、出演順、留意事項を決定後、各参加団体（学校）宛に進行表、諸連絡事項を送付します。

- ④ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、審査方式をステージ演奏による会場審査ではなく、映像付き録音記録媒体による審査に変更する場合があります。

審査方式を変更する場合には、変更後の開催方式や開催上の留意事項を改めて通知いたしますが、審査方式が変更になった場合に備え、全参加団体（学校）において予め審査用記録媒体の作成対応をいただきます。

作成及び提出していただく映像付き録音記録媒体の形式は次のとおりとし、提出期限と提出方法は上記③の諸連絡事項と併せてお知らせします。

- i) 作成・提出する映像付き録音記録媒体は演奏状況が録画されたDVDとする。ただし、家庭用DVDプレーヤー等の再生機器での再生が可能なものとする。（注意：パソコンは再生機器に該当しません。）

- ii) 演奏しているバンドの全体（演奏者全員）が映っており、映像で演奏者と使用している楽器が

確認できること。

- iii) 録画機器を定位置に置いた固定撮影とし、映像のアップ等の演出は行わないこと。
- iv) 録音は演奏グループ前の定位置（舞台用三点吊りマイクを含む）のみでの固定録音とし、補助マイクを使用した合成録音は行わないこと。
- v) 演奏開始から演奏終了まで、途切れない一貫した状態で演奏が収録されていること。
- vi) 入力音声レベルを調整しない状態で収録し、ダイナミックレンジの全体幅と程度が判断できる収録であること。
- vii) 収録したものを修正・加工するなどの編集は一切行わないこと。
- viii) チャプター等の区切り設定が行われていない状態で記録されていること。
- ix) 提出する記録媒体には部門、後日通知する部門別演奏順、団体（学校）名及び収録日を記載すること。

なお、審査方式を映像付き録音記録媒体による審査に変更した場合においては、審査用記録媒体が指定日時までに提出されなかった場合、また提出された場合であっても審査用記録媒体が正常に再生できなかった場合には、当該団体（学校）は審査対象外（失格）として取り扱います。

また、提出された審査用記録媒体の返却はいたしません。主催者の長野県吹奏楽連盟や東海吹奏楽コンクール等の上部大会の主催連盟事務局から、県大会において参加団体（学校）から提出された審査用記録媒体の提出を求められた場合には、当該団体（学校）の承諾を得た上で提出の対応を図ります。

- ⑤ 本大会が新型コロナウイルス感染症等の感染症防止対策を目的として会場審査から映像付き録音記録媒体審査に切り替えて実施することになった場合の感染症拡大防止措置のため、または事故発生により申込書記載の指揮者を変更して参加する場合は、その変更をすみやかに事務局へ連絡して了解を得て下さい。

- ⑥ 参加上の留意事項のうち、参加者に係る主要な事項について以下のとおり事前周知します。ご理解をいただいた上で参加申し込みをして下さい。

なお、参加団体数や新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大状況により、実際の運営方法や演奏者にご対応いただく事項や手順を変更する場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。

実際の運営方法や演奏者にご対応いただく事項の詳細は、参加団体確定後に再検討して改めて通知します。

- i) コンクール当日は、会場内では演奏時以外は必ず不織布マスクを着用し、こまめな手指消毒や人と人との適切な間隔（1.0m以上）の確保に努めるなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に十分留意してください。
また、時間厳守に心掛けつつ常に舞台進行状況を把握してタイムスケジュールの変更に対して臨機応変な対応ができるようお願いします。
- ii) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、チューニング室以外で楽器から音を出すことは禁止いたします。
- iii) ステージで使用する椅子と譜面台について、ステージ上に置く必要数（あらかじめ報告をいただいた数）は主催者側で調整しますが、**ステージ上での椅子、譜面台、打楽器の配置、演奏後の使用した椅子、譜面台、指揮者用譜面台の拭き取り（消毒）清掃は、すべて演奏者自らが行うもの**とします。
- iv) **演奏者は各自必ず除菌シート等を持参していただき、チューニング室やステージで使用した椅子や譜面台を必ず自分で拭き取り（消毒）清掃し、処置後のゴミは自分で持ち帰って処分して下さい。**

- v) 演奏時に発生する水分の飛散や拡散の防止対策と除去処理は演奏者自らの責任で対応するものとし、**ペットシートなど吸水性のあるシートを各自で準備持参し、チューニング室とステージでの演奏時及び演奏後の水分処理を自己責任で対応**して下さい。
また、**処置後のゴミは自分で持ち帰って処分**して下さい。例年、チューニング室に古新聞を準備するなどしていますが、新型コロナウイルス感染防止対策として、本大会では準備いたしません。
- vi) ステージで演奏し、上記iii)の椅子、譜面台、指揮者用譜面台の拭き取り（消毒）清掃を対応した後、状況により床の拭き取り（消毒）清掃をお願いする場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。
- vii) 前の演奏団体による使用した椅子、譜面台、指揮者用譜面台の拭き取り（消毒）清掃及び床の拭き取り（消毒）清掃が終わり、すべてステージから撤収したことを確認してから、次の演奏団体の椅子及び譜面台の必要数を調整します。
次の演奏団体は、これらの作業が終わってからステージへ入り、椅子、譜面台、打楽器の配置を行っていただくようになります。
- viii) 演奏前の準備と演奏後の拭き取り（消毒）清掃時に楽器を仮置きする場所等は今後検討し、運営方法や演奏者にご対応いただく事項の詳細に含めて連絡いたします。
- ix) **ステージ上では奏者相互の配置間隔を必ず1.5m以上確保し、演奏者相互の「身体的距離」を確保**して下さい。
- x) コンクールでは審査結果のみを追求せず、より良い音楽づくりのための研修の場に、また参加団体相互の交流の場になるよう、良識ある姿勢で参加して下さい。

⑦ 編曲許諾について

楽曲を編曲（編成の変更、使用楽器の変更、カット等を含む）するなど著作物に改変を加えて演奏する場合、使用する楽譜によっては著作者の同意を得る必要があります。なお、許諾の要否が判断できない場合には作曲者、編曲者、出版社等に直接問い合わせるなどの対応により確認をお願いします。

【JASRACホームページ：<http://www.jasrac.or.jp/index.html>】

【JASRACインフォメーションデスク：03-3481-2125】

⑧ 複製許諾について

原譜やレンタル楽譜を所持せず、コピー楽譜を手配して原譜として使用する場合、手配するコピー楽譜には複製許諾が必要になります。楽譜コピーに関するQ&Aが「楽譜コピー問題協議会（CARS）」のホームページに掲載されていますので参考にして下さい。

【ホームページ：<http://www.cars-music-copyright.jp/qa.html>】

⑨ 著作権全般について

著作権（楽曲使用の可否、編曲許諾、演奏許諾等）の取り扱いにつきましては、各参加団体（学校）での事前確認をお願いします。

なお、著作権に関するQ&Aが「公益社団法人著作権情報センター」のホームページに掲載されていますので参考にしていただき、不明な点は直接電話で問い合わせさせていただくようにお願いします。

【ホームページ：<http://www.cric.or.jp/qa/index.html>】

【著作権相談専用電話：03-5348-6036】

⑩ 絶版楽譜の取り扱い

楽譜が絶版の楽曲については、出版元からコピーサービスを受けた楽譜か複製許諾のあるコピー楽譜を使用してください。楽譜が未出版の楽曲については、著作権者（作曲者や楽譜出版社など）からの演奏許諾書（書式自由）を提示いただけるよう準備をお願いします。

絶版の楽譜、未出版の楽譜の取り扱いにつきましては、下記の各ホームページにQ&A等の記載がありますので参考にして下さい。

「一般社団法人日本楽譜出版協会」

【ホームページ：<http://j-gakufu.com/faq.html>】

「公益社団法人 日本吹奏楽指導者協会 東北支部 （!!使用楽譜と許諾について!!）」

【ホームページ：http://www17.plala.or.jp/JBA-TOHOKU/guide_S3.html】

⑪ 不適切行為に係る責任分担について

大会への参加申込は、使用楽譜に係る原譜の購入やレンタル手続き、著作権所有者への複製許諾手続き、使用する楽曲の編曲許諾手続き等が適切に行われていることが条件になります。このため、後日これらの手続への不適切対応が明白となり罰則適用や賠償責任が生じた場合には、申込時点で参加申込者に虚偽の事実があったものと判断し、これらの不適切行為に係る一切の責任を当該申込者に負っていただきます。

⑫ 不服申し立てについて

使用楽譜に係る諸手続に起因する罰則適用や賠償責任への対応で生じた不服等については、主催者である長野県吹奏楽連盟理事長へ申し立てのうえ、双方で協議してください。

⑬ コンクールの参加資格等に関して後日不正が明らかになった場合は、『実施・審査規定 [6] 規定違反に対する処分』の規定に従い対処するものとし、これらに関する対外的な責任は、すべて当該団体（学校）が負うものとします。

⑭ この開催要項及び実施・審査規定に定められていない事項について疑義が生じた場合は、その処理の判断は理事会が行うものとします。なお、緊急な案件で速やかな判断を要する事項については理事長の判断によるものとし、当該案件の発生については後日理事会に報告し、承認を得るものとします。

⑮ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等により、国または地方公共団体からの行事中止に係る指示や要請、岡谷市文化会館による施設使用停止の命令があった場合には、本大会の開催を中止することがあります。この場合の措置は前⑬項によるものとします。

⑯ 東海吹奏楽コンクールの日程は下記のとおりです。

第77回東海吹奏楽コンクール 大学の部／職場・一般の部

期日：令和4年9月4日（日）

会場：不二羽島文化センター〔岐阜県羽島市〕

【別紙・重要確認事項】

録音・録画の記録条件と提出する審査用記録媒体について

第62回（令和4年度）長野県吹奏楽コンクール「大学の部」「職場・一般の部」長野県大会について、新型コロナウイルス感染症等の感染症防止対策のため開催方式を会場審査から映像付き録音記録媒体による審査に切り替えて実施する場合に備え、あらかじめ参加団体（学校）に審査用記録媒体の作成をいただきます。

参加団体（学校）に作成をいただく審査用記録媒体については開催要項の「14.留意事項 10)その他 ④」に記載しておりますが、重要な事項のため、当該事項について抜粋し以下に再掲しますので周知徹底をお願いします。

1. 作成・提出する記録と録音・録画の対応について
 - 1) 作成・提出する記録は映像付き録音記録とする。
 - 2) 提出する映像付き録音記録の音声は録画と同時に録音されたものであること。
2. 録画条件及び提出する審査用記録媒体
 - 1) 提出する審査用記録媒体はDVDとする。ただし、家庭用DVDプレーヤー等の再生機器での再生が可能なものとする。**（注意：パソコンは再生機器に該当しません。）**
 - 2) 演奏しているバンドの全体（演奏者全員）が映っており、映像で演奏者と使用している楽器が確認できること。
 - 3) 録画機器を定位置に置いた固定撮影とし、映像のアップ等の演出は行わないこと。
 - 4) 録音は演奏グループ前の定位置（舞台用三点吊りマイクを含む）のみでの固定録音とし、補助マイクを使用した合成録音は行わないこと。
 - 5) 演奏開始から演奏終了まで、途切れない一貫した状態で演奏が収録されていること。
 - 6) 入力音声レベルを調整しない状態で収録し、ダイナミックレンジの全体幅と程度が判断できる収録であること。
 - 7) 録画収録したものを修正・加工するなどの編集は一切行わないこと。
 - 8) チャプター等の区切り設定が行われていない状態で記録されていること。
 - 9) 提出する記録媒体には部門、後日通知する部門別演奏順、団体（学校）名および収録日を記載すること。
3. 審査用記録媒体を審査対象外とする基準について

審査用記録媒体が後日指定する日時までに提出されなかった場合、また提出された場合であっても審査用記録媒体の再生ができなかった場合には、当該グループの演奏は審査対象外（失格）として取り扱います。

※以上、開催要項「14.留意事項 10)その他 ④」より抜粋
4. 審査用記録媒体の提出に際しての留意事項

提出する審査用記録媒体について、必ず視聴（試聴）を行い、正しく録音・録画されていることを確認した上で提出すること。

【参考】

長野県大学職場一般吹奏楽連盟吹奏楽コンクール実施・審査規定

改定 (平成 8 年 4 月 19 日)
(平成 12 年 4 月 23 日)
(平成 14 年 6 月 23 日)
(平成 22 年 5 月 27 日)
(平成 23 年 5 月 28 日)
最終改定 (令和 3 年 10 月 24 日)

[1] 総則

1. この規定は長野県吹奏楽連盟が主催する長野県吹奏楽コンクール（以下、「コンクール県大会」という。）の部門のうち長野県大学職場一般吹奏楽連盟（以下、「当連盟」という。）が主管する「大学の部」及び「職場・一般の部」（以下、2つの部門を総括して「本部門」という。）の実施及び審査に関して必要な事項を定めたものである。
2. コンクール県大会本部門は当連盟の正会員の団体が応募して参加し、毎年7月ないし8月に実施する。
3. 実施会場及び日時は当連盟理事会（以下、「理事会」という。）がこれを定める。

[2] 実施部門及び人員

1. 実施部門を次のとおりとし、参加団体は所属する部門に出場するものとする。
 - ① 大学の部
 - ② 職場・一般の部
2. 各部門の参加人員は次のとおりとする。なお、指揮者はこの人員には含まれない。
 - ① 大学の部 55名以内
 - ② 職場・一般の部 65名以内
3. 上部大会（東海吹奏楽コンクール、全日本吹奏楽コンクール）ではコンクール県大会の参加人員を超えて演奏することはできない。

[3] 参加資格

1. 各部門における演奏者の参加資格要件は次のとおりとする。
 - ① 大学の部
同一の大学又は高等専門学校に在籍している学生とする。
なお、高等専門学校においては学校教育法第119条により置かれた専攻科の学生、大学においては学校教育法第91条により置かれた大学の専攻科及び別科の学生及び同法第92条により置かれた大学院の学生を含むものとする。
ただし、管楽器、打楽器、コントラバスを専攻する学生の参加は認めない。
 - ② 職場・一般の部
当該団体の構成員とする。ただし、職業音楽家の参加は認めない。
2. 同一奏者が全日本吹奏楽コンクールの予選に出場する二つ以上の団体に重複して出場することは認めない。
3. 指揮者の資格は特に制限しない。

[4] 演奏

1. 課題曲・自由曲は同一人員で演奏し、かつ同一のメンバーが演奏しなければならない。ただし楽器の持ち換えは認める。
2. 課題曲・自由曲とも同一人が指揮すること。
3. 参加申込書の記載事項を変更しての演奏は認めない。
4. 参加団体は課題曲および自由曲を演奏して審査を受けるものとする。
5. 課題曲について次のとおりとする。
 - ① その年度ごとに全日本吹奏楽連盟で指定する課題曲の中から1曲を選んで演奏するものとする。

- ② 課題曲はスコアに指定された編成を尊重すること。
 - ③ スコアに指定された楽器が無い場合はスコアに指定されている楽器に限り代替演奏を認める。
6. 自由曲について次のとおりとする。
- ① 組曲も1曲とみなす。
 - ② 自由曲の編成は、木管楽器、金管楽器、打楽器（擬音楽器を含む）とする。ただし、コントラバス、ピアノ、チェレスタ、ハープの使用は認める。
 - ③ その年度ごとに指定されている課題曲を自由曲として演奏することはできない。
 - ④ 著作権の存在する楽曲を編曲して自由曲とする場合は、事前に著作権者から編曲の許諾を受けなければならない。この許諾を受けないで大会に参加することは認めない。
- (注) 1. 作曲者の死後およそ70年を経ている大半の作品には著作権が存在する。ただし、平成30年の著作権法改正以前に保護期間を終えているものは遡及されることはない。
2. 編曲の管理は日本音楽著作権協会ではなく著作権者（作曲者またはその楽譜の出版社）が行っている。
7. 演奏時間について次のとおりとする。
- ① 演奏時間は課題曲と自由曲を含めて12分以内とする。
 - ② 演奏時間とは課題曲の演奏開始から自由曲の演奏終了までをいう。
 - ③ 規定の演奏時間を超過した場合は失格とし、審査の対象としない。
8. 出演順について次のとおりとする。
- ① 部門演奏順序及び出演順序は理事会が決定する。
 - ② 出演順決定後はやむを得ないものと認められる場合を除き出演順を変更しない。
9. ステージへの機材持ち込みについて次のとおりとする。
- ① ステージにハープやコントラバス等の台・反響板を持ち込むことはできない。
 - ② サイレントベース（コントラバスにマイクをつけたもの）、オルガン、ハープシコード、アコーディオン、電子楽器を使用することはできない。

[5] 審査

1. 審査の実施及び審査員の選出は次のとおりとする。
- ① 審査は審査員5名からなる審査委員会が行う。
 - ② 審査員は音楽に関する専門家、有識者の中から選出し、当連盟理事長（以下、「理事長」という。）が委嘱する。
 - ③ 審査委員会の互選により審査委員長を選出し、審査委員長が審査委員会を統括する。
2. 審査員は次の観点により審査を行う。
- | | |
|------------|------------------------------|
| A 音と音質 | 音色、音のコントロール、音のブレンド |
| B イントネーション | 音程、フレージング |
| C テクニック | アインザッツ、リズム、発音、正確さ、個々の技術 |
| D バランス | 主旋律、対旋律、伴奏、ハーモニー、音量 |
| E 楽曲解釈 | テンポ、ダイナミクス、感銘度、きめの細かさ、奏者の理解度 |
3. 審査の評価は次のとおりとする。
- ① 審査は「課題曲」及び「自由曲」についての段階評価によるものとし、各審査員が「課題曲」と「自由曲」について各々1～10の10段階で評価を行う。
 - ② 審査員は[5]2.に規定する審査の観点を踏まえて各団体の演奏について独自の基準で評価するものとし、その結果を審査カードに記入する。併せて各団体の審査講評を審査カードに記述する。
4. 審査結果の処理は理事長が指名した者が行う。
5. 審査員が評価した「課題曲」及び「自由曲」の段階評価は、審査員1名につき20点、審査委員会として100点を上限とする「評定値」として集計し、団体ごとに以下の基準により「金賞」、「銀賞」、「銅賞」の賞を付与する。
- 金賞 80点以上
 - 銀賞 50点以上79点以下

銅賞 49点以下

6. [5] 5. の規定により付与した賞は審査委員会の了承により決定し、理事長が授与する。
7. [4] 7. ③の規定により失格となった団体には努力賞を授与する。

[6] 規定違反に対する処分

1. 出場団体に [3] 1.、[3] 2. 又は [4] 3. の規定に違反する事実が認められた場合は、当該団体について参加停止とする。また、後日これらが明らかになった場合は審査結果を無効とするとともに、失格として授与した賞を剥奪する。
2. 団体の演奏に [4] 1.、[4] 2.、[4] 5.、[4] 6. 又は [4] 9. の規定に違反する事実が認められた場合は失格として審査の対象としない。また、後日これらが明らかになった場合は審査結果を無効とするとともに、失格として授与した賞を剥奪する。

[7] 東海吹奏楽コンクール出場団体の推薦

1. 上部大会の東海吹奏楽コンクールへ出場する団体の推薦は以下のとおりとする。
 - ① 各部門とも東海吹奏楽連盟の示す出場団体規定数の範囲内で金賞受賞団体の「評定点」の上位より選出し、審査委員会の信任を得て推薦団体として決定し、理事長が出場権を授与する。
 - ② 前項の選出において選出団体数が東海吹奏楽連盟の示す出場団体規定数を超えた場合は、最下位で選出された団体について審査委員会が投票を行って推薦団体を決定し、理事長が出場権を授与する。審査委員会は投票で過半数の推薦票を獲得した団体を推薦団体として決定する。
 - ③ 金賞受賞団体数が東海吹奏楽連盟の示す出場団体規定数に満たない場合は、銀賞受賞団体の「評定点」の上位より選出して審査委員会が推薦の可否を審議し、推薦団体として決定した場合には理事長が出場権を授与する。

[8] 表彰

1. 表彰は授与する賞の公表及び賞状の授与によって行う。
2. 各団体に授与する賞、並びに東海吹奏楽コンクールの出場権を授与した団体は表彰式で発表する。
3. 審査カードは各団体への引き渡しにより公表し、各団体が得た「評定点」及び受賞した「賞」、並びに東海吹奏楽コンクールの出場権を授与した団体は表彰式終了後に掲示等により公開する。なお、審査員氏名は公表する。

[9] その他

1. コンクール県大会本部門の参加に要する費用は参加団体の負担とする。
2. コンクール県大会本部門の運営方法は理事会が定める。
3. コンクール県大会本部門開催当日に不測の事態が生じた場合の対応は次のとおりとする。
 - ① 審査及び表彰に関する不測の事態
理事長又は理事長が指名した者が審査委員会の意見を聴取して対応をとりまとめ、その指示に従うものとする。なお、理事長に事故ある場合は副理事長がその任務を代行する。
 - ② 運営に関する不測の事態
理事長又は理事長が指名した者が対応をとりまとめ、その指示に従うものとする。なお、理事長に事故ある場合は副理事長がその任務を代行する。
4. この規定に定められていないコンクール県大会本部門実施上の細目については理事会がその都度定める。

【参考】

長野県大学職場一般吹奏楽連盟吹奏楽コンクール大会運営細則

- 1 長野県大学職場一般吹奏楽連盟（以下、「当連盟」という。）が主管として開催する長野県吹奏楽コンクール（以下、「コンクール」という。）の大会運営はこの細則の定めるところによる。
- 2 コンクールの大会運営は当連盟規約第 31 条に規定する実行委員会を組織してこれにあたる。
- 3 コンクール参加申し込み団体（以下、「団体」という）は実行委員を選出するものとし、連盟役員とともに実行委員会を構成する。

団体から選出する実行委員の数は当連盟理事会がその都度定めて通知する。
- 4 団体は、団体が選出する実行委員に関して事務局長が求める報告事項を、指定された期日までに届け出なければならない。
- 5 団体から届け出のあった実行委員が事故等により運営に携わることができない場合は、団体の責任においてその代理者を充てなければならない。
- 6 定められた数の実行委員を選出しない団体については、コンクールへの参加を認めない。
- 7 実行委員の担当業務、担当時間及び業務マニュアルは、当連盟事務局長がその都度定める。

なお、実行委員の担当業務及び担当時間は団体の演奏順が決定した後に定める。
- 8 実行委員の担当業務、業務担当時間及び業務マニュアルは、あらかじめ事務局長が実行委員長及び各委員へ通知及び送付するものとし、団体が選出した実行委員へは団体の長を通じて通知及び送付する。
- 9 団体から選出された実行委員には長野県大学職場一般吹奏楽連盟会計細則に定める交通費及び宿泊費は支給しない。
- 10 この細則に定めのない細目については当連盟理事長の判断に従うものとする。
- 11 この細則の適用が吹奏楽コンクールの安全な開催に支障を生じさせると理事会が判断した場合は、この細則を適用せず当連盟規約第 31 条に定める実行委員会を別途組織して大会運営にあたるものとする。

附則

- 1) この細則は、平成 23 年 4 月 17 日に制定し、平成 23 年 4 月 24 日から施行する。
- 2) この細則は、令和 2 年 10 月 11 日に改正し、同日から施行する。